

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1022), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価, 評価コメント, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1023), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充).

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and future directions).

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1024), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and implementation status.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for performance assessment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充).

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and future directions).

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1026), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, implementation, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, 縮小) and a space for improvement strategies.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1027), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1028	課コード	1502	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)																
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	学校における保険給付事業		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	教育総務部・学校教育課							
		個別事業	日本スポーツ振興センター災害共済給付・任意保険給付事業		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市										
	③事業主体	●市 ○その他 ()		⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.3人									
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	59,428千円		当該(開始)年度	(当初)	12,446千円 (うち人件費 2,610千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード	52101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 子ども総合計画						
(2) 目的	施策目的・展開方向	思いやりのある豊かな心を育むため、人権・人間尊重の精神や社会性を育む規範意識の醸成など、人間形成のための教育を推進します。また、健康管理の大切さを意識した健やかな生活を送ることができるよう、食育や健康教育の充実にも努めます。			事業目的	学校管理下での児童生徒の災害に対して当該児童生徒の保護者に災害共済給付を行う制度に加入することや、学校設置者として損害賠償などが発生した場合に補てんする保険に加入することで、万が一の事態に備える。										
(3) 事業内容	内容	「日本スポーツ振興センター法施行令第5条」の規定により、学校管理下において発生した事故で、療養に要する費用が5,000円以上の者につき、その児童生徒の保護者へ給付する。また、「賠償責任保険」では、学校施設の瑕疵、学校施設の管理業務遂行上の過失、学校業務遂行上の過失などについて、市が賠償責任を負う場合の補償について補てんする。			当該年度執行計画	「賠償責任保険・補償保険」4月掛金納入・・・請求事務を事故発生時、随時「日本スポーツ振興センター災害共済給付」5月掛金納入・・・毎月取りまとめ請求事務及び給付金支払い手続き事務										
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				当該年度	指標種類	指標	単位	件	想定値	800					
	学校管理下における事故の減少を目指す				令和3年度	直接	日本スポーツ振興センター災害共済申請事務件数	件		実績値	833					
	学校管理下における事故の減少を目指す				令和4年度	直接	日本スポーツ振興センター災害共済申請事務件数	件			800					
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度								
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
			負担金 その他保険料	8,978 1,198		負担金 その他保険料	8,602 1,234				負担金 その他保険料	8,602 1,234			負担金 その他保険料	8,602 1,234
		予算(決算)額	合計	10,176	合計	9,836	合計	9,836	合計	9,836						
		(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0					
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0					
	一般財源		6,588		5,931		5,928		5,928		5,928					
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	3,588	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	3,905	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	3,908	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	3,908							
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.3		0.3		0.3		0.3								
	正職員人件費	2,640		2,610		2,610		2,610								
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0								
	臨時職員賃金額	0		0		0		0								
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	12,816		12,446		12,446		12,446								
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	12.82千円/件		15.56千円/件												

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	学校の管理下における運動や授業中に起こる事故が年間1,000件近く発生中、民間よりも安い掛金で給付を受けることができる災害共済への加入は必要である。また、学校における施設の瑕疵、業務上の過失などによる賠償に備えて賠償責任保険に加入する必要がある。				<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容> 日スポ法第16条には学校設置者と災害共済の契約を締結することが規定されている。損害賠償については、学校設置者の責任として加入すべきものである。		<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービスの水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input type="checkbox"/> 自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容 <input type="checkbox"/> 当初期待した以上 <input type="checkbox"/> 当初期待したとおり <input type="checkbox"/> 当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
(3) 環境に配慮して事業を進めているか？	<input type="checkbox"/> 自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> 生き物と共存している <input type="checkbox"/> 手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> 環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> その他		配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮 <input type="checkbox"/> 想定どおり <input type="checkbox"/> 想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> 自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> 生き物と共存している <input type="checkbox"/> 手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> 環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> その他		配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮 <input type="checkbox"/> 想定どおり <input type="checkbox"/> 想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック <input checked="" type="checkbox"/> 客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> 現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> 現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> 適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況	実績値(f)(件)	達成率(%) (b/f×100)	<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	833	800								○要 ○不要
	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円) 12,446 事業費削減額(d)(千円) 370 事業費削減率(%) 2.89		実施予定の対策 <input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実施状況 実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要	
目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用) 6.43		計算方法 <input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況 実績値(h) 対目標値(%) (e/h)×100		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要		

3. 事後評価										
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1030), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a progress status legend and a space for comments and future strategies.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1031), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1033), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for comments and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1034), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1035), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status and improvement directions.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement and expansion directions).

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1036), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1037	課コード	1502	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	小中学校備品管理事業		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	教育総務部・学校教育課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	平成31年度 ~			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.35人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	32,743千円 (うち人件費 3,045千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	52104	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	安心して快適に学べる教育・学習環境をつくるため、校舎等の老朽対策やICT機器・備品の更新を実施するなど、施設や設備、教育機器などの整備・充実に努めます。			事業目的	市内小中学校19校の備品管理事務を通じ、学習環境の整備を行う。事務の効率化や適正な予算執行・備品の有効活用を図る。								
(3) 事業内容	内容	・市内の全小中学校を運営維持していくための学校備品を適正に購入管理する。(学校備品予算の執行や伝票作成・備品台帳の管理など庶務的業務全般) ・教育基本法の改正を踏まえ、子どもたちに「生きる力」を育むことを目指し、言語活動・理科教育・外国語教育・道徳教育・体験教育などの充実を図る。 ・各学校の備品を管理するため、システムを導入し適正かつ効率的な備品の活用を行う。			当該年度執行計画	・市内小中学校19校の備品管理事務を一括で行いながら学習環境の整備を行うと共に、事務の効率化や適正な予算執行・備品の有効活用を図る。 ・備品の老朽化、学級数の増加などの理由により、教育備品の充実が求められることから、計画的な購入をすすめていく。備品管理システムを活用し学校備品の管理を適正かつ効率的に行う。								
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	%	想定値	100				
当該年度	予算の適正執行を通じ、学習環境を整備する。				直接	予算執行率	%		実績値					
令和3年度	予算の適正執行を通じ、学習環境を整備する。				直接	予算執行率	%			100				
令和4年度	予算の適正執行を通じ、学習環境を整備する。				直接	予算執行率	%			100				
(7) 事業実施上の課題と対応	購入から30年以上経っている老朽化した大型備品が多くあり、買い替えには多額の購入費がかかることから、事業計画を立て、調整をしながら効率的に購入することが必要になる。				代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			小学校備品購入費	18,479		小学校備品購入費	18,191		小学校備品購入費	18,191		小学校備品購入費	18,191	
			中学校備品購入費	9,952		中学校備品購入費	9,918		中学校備品購入費	9,918		中学校備品購入費	9,918	
			小学校備品管理システム使用料	462		小学校備品管理システム使用料	462		小学校備品管理システム使用料	462		小学校備品管理システム使用料	462	
予算(決算)額	合計		32,300	合計			29,698	合計			35,848	合計		35,848
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
一般財源	32,300		29,698			35,848			35,848					
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他			□特会 □受益 □基金 □その他			□特会 □受益 □基金 □その他					
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.35		0.35			0.35			0.35				
正職員人件費	3,080		3,045			3,045			3,045					
嘱託職員報酬額	0		0			0			0					
臨時職員賃金額	0		0			0			0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	35,380		32,743			38,893			38,893					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	353.8千円/%		327.43千円/%											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	学校の設置者として、児童生徒の学習ニーズに対応しながら教育備品の整備管理を行う。学校を維持管理していくため必要な備品購入およびその管理を担う。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成				
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
7.45										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			
	0.31	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1039), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (□政策 ■経常 □なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for assessment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進).

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and expansion direction).

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1040	課コード	1502	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	教育総務部・学校教育課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐		■全市			
	⑤事業期間	平成10年度 ~		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.65人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	350,815千円	当該(開始)年度	(当初)	397,867千円 (うち人件費 5,655千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	83202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無		部門別計画への位置づけ (計画名) 子ども総合計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	行政や市民、NPO、企業などの多様な主体が、市民ニーズに適合した質の高いサービスを提供していきけるよう、提案型公共サービス民営化制度を活用しながら事業の委託化や民営化を進めるとともに、公の施設の管理運営にあたっては指定管理者制度の活用を進めます。また、事業の必要性や実施主体のあり方などについて、調理業務民間委託により、人件費において市の財政負担の軽減を図る。また学校栄養職員が行なっていた調理従事者の衛生管理や労務管理の時間軽減を図り、加えて学校栄養職員が行なう給食指導や「食育」の充実を図る。			事業目的	小中学校給食調理業務民間委託を継続し、食に関する指導の充実と、委託による財政負担の軽減を図る。				
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	・小中学校給食調理業務民間委託の継続実施するにあたり年間を通した安定運営の確認と必要に応じた研修支援・指導を行う。 ・3年度委託に向けて、我二小、我三小、根戸小、新木小、湖北台中の6校に対して3年に1度の契約業者特定のためのプロポーザルによる選定を行う。 ・高野山小の調理業務を新規に委託する。				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	校	想定値	実績値
当該年度	調理業務民間委託により、人件費において市の財政負担の軽減を図る。				直接	円滑な給食調理業務の民間委託実施校数	校		18	18
令和3年度	調理業務民間委託により、人件費において市の財政負担の軽減を図る。				直接	円滑な給食調理業務の民間委託実施校数	校		19	
令和4年度	調理業務民間委託により、人件費において市の財政負担の軽減を図る。				直接	円滑な給食調理業務の民間委託実施校数	校		19	
(7) 事業実施上の課題と対応	調理業務委託では、学校栄養士、給食担当における調理業務実施状況管理が重要となる。今後は、学校栄養士、給食担当が連携し、安全でおいしい給食の提供ができるよう調理業務実施状況管理をさらに進める。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			小学校給食調理業務委託 12校 中学校給食調理業務委託 6校 契約業者選定(我孫子一、我孫子四小、湖北台東小、湖北中、久寺家中、白山中) 報酬 【9月補正】 給食調理業務委託料	248,980 132,011 14 △1,768		小学校給食調理業務委託 11校 中学校給食調理業務委託 5校 布佐小・布佐中学校給食調理業務委託 契約業者選定(我孫子二小、我孫子三小、根戸小、新木小、湖北台中) 3年度新規委託開始の準備(高野山小) 報酬	236,697 124,041 31,460 14		小学校給食調理業務委託 12校 中学校給食調理業務委託 5校 布佐小・布佐中学校給食調理業務委託 契約業者選定(湖北小、布佐小、湖北台西小、並木小、布佐南小、我孫子中、布佐中) 高野山小(新規委託) 報酬	261,397 124,041 31,460 14
		予算(決算)額	合計	379,237	合計	392,212	合計	416,912	合計	416,912
		国庫支出金 補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%
県支出金 補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
起債 充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
一般財源	379,237	392,212	416,912	416,912	416,912	416,912	416,912	416,912	416,912	
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	
正職員人件費	5,720	5,655	5,655	5,655	5,655	5,655	5,655	5,655	5,655	
嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員賃金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	384,957	397,867	422,567	422,567	422,567	422,567	422,567	422,567	422,567	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	21,386.5千円/校	22,103.72千円/校								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価	事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))	改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	第2次行政改革指針に基づく、小中学校給食調理業務民間委託の推進をはかり、安定的な給食提供を行うため調理業務委託の継続を行う。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる ■その他	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給が確保された ○⑦その他 <その他の内容>	○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし	実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) 参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし	実施した具体的な内容 環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (校) 18 目標値(b) (校) 18 目標値の妥当性のチェック □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況 実績値(f) (校) 18 達成率(%) (f/b×100) 100% <目標を達成した理由/未達成となった原因>	○要 ○不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c) (千円) 397,867 事業費削減額(d) (千円) △12,910 事業費削減率(%) △3.35 実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 ■④民間委託 <削減の内容>	実施状況 実績値(g) (千円) 384,957 対事業費(%) (g/c) × 100 96.75% <超過理由等>	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e) 0.45 単位 費用単位 校 1000万円 計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	達成状況 実績値(h) 0.45 対目標値(%) (h/e) × 100 100% <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1043	課コード	1502	会計種別		予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	学級編制及び学籍管理 (法令に基づく適切な事務) 事業		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	教育総務部・学校教育課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		1人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	8,735千円 (うち人件費 8,700千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	52104	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	安心して快適に学べる教育・学習環境をつくるため、校舎等の老朽対策やICT機器・備品の更新を実施するなど、施設や設備、教育機器などの整備・充実に努めます。			事業目的	法令に基づき事務を遂行し、適切に児童生徒の学籍管理を行う。					
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学級編制事務 ・学齢簿作成管理 ・入学、退学、転学の手続き ・学区外就学、区域外就学の手続き ・我孫子市通学区審議会 			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> ・就学児童生徒の保護者に対し、入学通知書を発送。 ・学区外、区域外就学の手続き。 ・入学、退学、転学の手続き。 ・学齢簿の管理。 ・学級編制協議 (各小中学校・教育事務所) ・我孫子市通学区審議会 					
		当該年度活動結果指標	適切な事務を遂行し、学齢簿を適正に管理する件数。		単位	件数	想定値	9,989		実績値	
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	各法令による適切な事務の遂行。				直接	適切な事務の遂行。		%	100	100	
令和3年度	各法令による適切な事務の遂行。				直接	適切な事務の遂行。		%		100	
令和4年度	各法令による適切な事務の遂行。				直接	適切な事務の遂行。		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	地域により各小中学校の児童生徒数に偏りがある。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		<ul style="list-style-type: none"> ・入学通知書 在庫で対応 ・転校届 在庫で対応 ・通学区審議会委員報酬 	0 0 70	<ul style="list-style-type: none"> ・入学通知書 在庫で対応 ・転校届 在庫で対応 ・通学区審議会委員報酬 *【布佐中学校区学校施設】 * 学校施設の在り方等検討 	0 0 35	<ul style="list-style-type: none"> ・入学通知書 在庫で対応 ・転校届 在庫で対応 ・通学区審議会委員報酬 *【布佐中学校区学校施設】 * 学校施設の在り方等検討・方針決定 	0 0 35	<ul style="list-style-type: none"> ・入学通知書 在庫で対応 ・転校届 在庫で対応 ・通学区審議会委員報酬 *【布佐中学校区学校施設】 * 学校施設の在り方等検討・方針決定 	0 0 35	<ul style="list-style-type: none"> ・入学通知書 在庫で対応 ・転校届 在庫で対応 ・通学区審議会委員報酬 *【布佐中学校区学校施設】 * 学校施設の在り方等検討・方針決定 	0 0 35
		予算(決算)額	合計	70	合計	35	合計	35	合計	35	
		国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%			
起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%			
一般財源		70		35		35		35			
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0			
(9) 財源内訳	換算人数(人)	0.7		1		0		0			
(10) 人件費等	正職員人件費	6,160		8,700		0		0			
	嘱託職員報酬額	7,092		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	6,230		8,735		35		35			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0.62千円/件数		0.87千円/件数								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
	小中学校の学齢簿作成や入学、退学、転学等の取り扱いは、すべて法令により規定されていることから、法令に基づく事務を遂行する必要がある。				<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>						○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他						<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他						<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率 (%)		<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>	
	100	100	<input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input checked="" type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	(f/b) × 100			
	対策実施による事業費削減 事業費 (c) (千円) 8,735 事業費削減額 (d) (千円) △2,505 事業費削減率 (%) △29.41		実施予定の対策 <input checked="" type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 事業費の削減対策について <input type="checkbox"/> ①事前の想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
	1.14	単位	費用単位	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1819), 課コード (1502), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for assessment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status and improvement directions.